

1.2 上下階間床衝撃音遮断性能

集合住宅の中の音楽空間としては空気音を対象とした遮音性能だけでなく、ピアノのようにハンマーで弦を衝撃加振することにより発音する機構を持つものは、その際生じる振動が建物躯体に伝搬し、隣接・近隣住戸の居室にまで影響を与え、居室内装面から音として放射される、いわゆる固体伝搬音が問題となることがしばしばあります。そこで、空気音による遮音性能だけではなく、床衝撃音測定に用いられる軽量床衝撃源（タッピングマシン）を使って衝撃音の伝搬について測定した結果、図-27に示すような値が得られました。隣接住戸の場合をみれば遮音構造は根太床に比して15~20dB となっています。

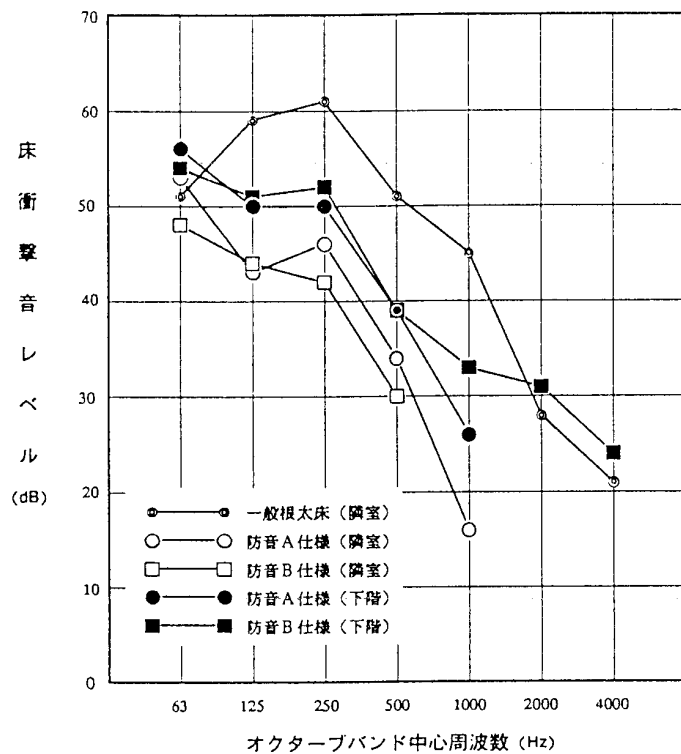


図-27 軽量床衝撃音レベル測定結果（加振室 205 号室）